

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [岡山県立岡山一宮高等学校] 担当教諭名 [目崎 浩子] (ユネスコ部 18名)

相手国・地域 [メキシコ]

海外学校名 [Colegio Inglés Americano] 担当教諭名 [Karel Van Beneden]

■実施教科・時間数について教えてください。

| | | | |
|-------------------------|-----|--------------|-----|
| アートマイルに関連した 実施教科・時間数 | 教科 | 単元名 | 時間数 |
| | 部活動 | アートマイルプロジェクト | 30 |
| | | | |

■作品に込めた想いについて教えてください。

| | |
|---|---|
| 題 (テーマ) | Sustainable Energy and Endangered Species |
| メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ) | 環境にやさしくあるためには？身の回りの問題に関心をもつことから始めましょう。 |
|  | |

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

| 成 果 | 課 題 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やニュースでしか知らなかった国のことを学習する機会となった。 ・調べるうちに疑問に思ったことを直接相手に質問する機会となった。 ・思い込んでいたことが事実と違うことが分かった。 ・図柄について相手国からのリクエストや自分たちが描きたいものを話し合うことで、チームの絆を深めることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムやメールでのやり取りが主になったが、代表者1人がやり取りするようになるのがやや残念であった。 ・学習するのは人数が多くてもできるのだが、絵を描く段階になると大人数で取り組むのが難しく、実際に描くのは10人までが限界である。 ・時差の関係でスカイプの時間設定が難しかった。また、1度行ったスカイプも音声聞き取りにくくスムーズな交流とはいかなかった。 |

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

| 児童生徒の意識の変化 | 教師の意識の変化 |
|---|--|
| <p>思い込みで判断することなく、実際に相手に言葉で確認することが大切だという経験を、相手国以外の国についても自分で調べてみようとするようになった。また、日本が他国からどのように思われているのかに興味を持ち、相手国に質問をする場面も見られた。</p> | <p>世界遺産も多く気になっていた国であった。学校周辺にはなかったそうだが、相手校の先生から直接話を聞くことができ、より親近感が持てるようになった。</p> |

■主な活動の流れを教えてください。

| 場面 | 時期 | 活動内容 | 児童生徒の反応 | 実施教科等 |
|----------------------------------|-----------------|---|--|-------|
| 出会い 自己紹介 | 7月 9月 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムに挨拶を写真とともに掲載する。 ・学校祭を中心に学校の取り組みを紹介する。 ・自己紹介をアップする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分を表現することを楽しんでた。 ・文化の違う相手にいかに伝えるか、チームで話し合い、いろいろなアイデアを出していた。 | 部活動5 |
| 共有 テーマ学習 | 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・相手国について学習レポートにまとめる。 ・調べたことを発表しあう。 ・相手国について質問をする。 ・テーマを話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・相手国について、自分たちがいかにステレオタイプだったかを実感していた。 | 部活動8 |
| 融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン | 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・テーマをもとに、構図を考える。フォーラム上で意思の疎通を図る。 ・相手側に構図の提案をし、最終決定を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・構図決定の際、イニシアチブを取ろうと自ら動いていた。 | 部活動7 |
| 創造 壁画制作 | 11月 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスに下書きをする。 ・色付けをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動状況をこまめに写真に撮り、積極的にフォーラムにアップした。 | 部活動8 |
| 評価 振り返り 自己評価 | 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの取り組みを話し合う。 ・ニューズレターを作り配布し、作品を校内掲示して学校全体で共有する。 ・相手校が作った歌を自分たちも歌って相手校に送る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・上級生の頑張った姿を見て、下級生の次年度への意欲向上につながっていたようである。 ・歌を共有することで共同作業をした1年を振り返ることができた。 | 部活動2 |

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

| 学習目標・つきたい力 | 評価 | 先生が手応えを感じた場面・理由 |
|-------------------------------|----|--|
| 自文化を理解する力 | 4 | 日本側のデザインについて相手からリクエストをもらった時、メキシコ人の日本に対するイメージを知り、自国のことに改めて関心を持ったようである。 |
| 異文化を理解する力 | 5 | 相手国について調べたことをレポートにまとめた。ただ調べただけでなく、疑問に思ったことを相手国の先生や生徒に直接質問をし、真偽を確かめていた。 |
| 情報活用能力 (収集・まとめ・発信) | 4 | フォーラムやスカイプを利用してコミュニケーションをとった。 持続可能エネルギーについて学習を深めるために、全校生徒対象にソーラーエネルギーに関するアンケートをとり、その結果をメキシコの生徒と共有した。また、学校祭でもポスター掲示をおこなった。 |
| コミュニケーション力 (双方向・共感・英語) | 4 | 自分が話したい、または聞きたい内容のキーワードをA4用紙に書いて、ネット上での音声がかみ聞き取れない場合を想定して備えた。実際、ネット状況が悪く、用意したキーワードが大変役に立った。これも大事なコミュニケーション力だと感じた。 |
| 批判的に思考する力 (客観的・論理視点) | 5 | 相手国に関して調べたことが真実なのか、直接相手に確認をした。また、自分たちが思っている「外国人が日本について持っているイメージ」についても、確認のための質問をしていた。 |
| 主体的に考え行動する力 | 5 | 学校行事を考えて、自分たちの活動できる期間を考え、仕事の割り振りも自分たちで行った。自分たちの仮説を確認するために、調べ学習にとどまらずフィールドワークも行った。 |
| 他者と協働する力 (学級内・海外の相手) | 5 | 役割分担をしっかりと行い、限られた時間を有効に使うことができた。フォーラムを使って壁画の構図を相手に確認し、独りよがりにならないように気を付けていた。 |
| 想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作) | 5 | 互いの国を尊重する部分を、国旗をデザインに使用することで表すことができた。左右対称にするために、お互いの類似するものをアレンジすることができた。 |
| 評価する力 (作品の鑑賞・学習自己評価) | 4 | フォーラムにアップされた壁画完成版の写真を使ってニューズレターを作成し全校生徒に配布した。相手校が作成してくれた歌を自分たちも歌うことで1年を振り返った。 |